

第 1 回定点観察会（長居植物園）

日時：2022 年（令和 4 年）4 月 15 日（金）曇り

集合時間・場所：長居植物園クジラの骨の下 10：00 集合

参加者：23 名

講師：田代貢氏

観察場所：長居植物園内 15 時解散

作成者：石川正樹

長居植物園 講師を囲んで



長居植物園クジラの骨の下集合



クルメツツジの二重咲き 外側は愕



まずはツツジの観察から

孔開葯の中に粘着糸の花粉が入っており、受粉を助ける



ウラジロモミ 葉柄はまっすぐにつく

(ツガの葉柄は曲がって枝に並行につく、トウヒは枝の出っ張りに葉がつく)



カツラの短枝 葉の付き方



ハナミズキ 花卉に見えるのは苞



葉の葉脈はらせん構造



ヒイラギ（モクセイ科）対生



ヒイラギモチ（モチノキ科）互生



八重の桜



シラン



シャガ



雄蕊と雌蕊



トチュウの葉



ツルニチニチソウ（キョウチクトウ科） 花の構造



アイスランドポピー



アオギリ



ムクノキの花



ウメの実の果実



午後から

ムラサキサギゴケの柱頭運動の観察

昆虫が触れた時に上下2つに分かれている雌蕊柱頭を閉じ、花粉を逃さないようにして確実に受粉する仕組み



タブノキの花





ソメイヨシノ、エドヒガン、オオシマザクラの
蜜腺位置



フラサバソウ

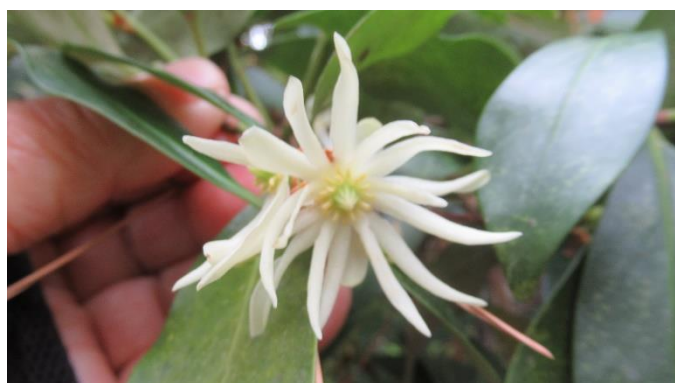


イロハモミジ



両性花と雄花

シキミ



トクサ スギナと同種の植物



メタセコイア誕生物語 三木茂博士

岐阜県や和歌山県などの粘土層の中から、ヌマスギやセコイアとは異なる未知の針葉樹を発見し、1941年にメタセコイア属として発表しました。

※化石でこれを見つけたのはすごい！

三木博士がメタセコイア属を発見した着眼点は、「対生（十字対生）する葉と球果の鱗片」と「枝の先に冬を越す芽がないので、落葉樹であることの推定」でした。

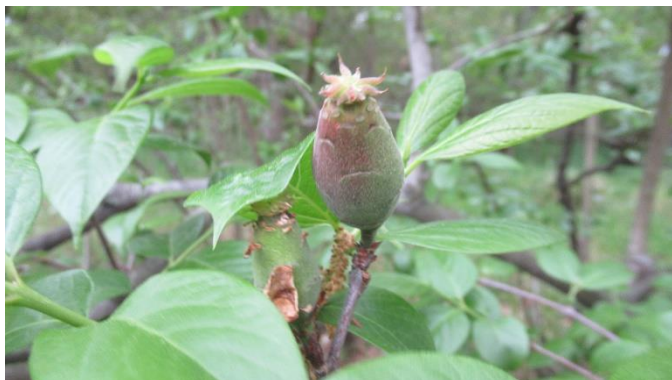
その後、1945年に中国で三木博士が考えた通りの生きているメタセコイア属の植物が発見され、「生きている化石」として有名になりました。



シャクナゲ



ロウバイの果実 偽果



ハナズオウ (マメ科)



観察会終了 お疲れさまでした



帰り道の長居公園に

ウワミズザクラが咲いていました

